

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	九州産業大学 (教職課程)	個人・ グループ名	景観教育 タスクフォース	作品名	TRASH BOX ペットボトルを主材料として構造体をつくる
-----	------------------	--------------	-----------------	-----	--------------------------------



家庭から出る身近なゴミの中でも数量が多いペットボトルは意外に強度があります。私たちはペットボトルを現状のまま利用して小空間を成立させる構造体を作りました。柱はプラスチックダンボールにボトルの注ぎ口が通る穴をあけ、キャップを締めて固定します。柱は上部のボトルほど容量が小さく、下部ほど大きくなります。下部のボトルには水を入れ、基礎に近い役割を担わせました。その柱を5本配置して、斜方20・12面体の半球ドーム屋根を架けました。ドームを組むボトルどうしは、カップにボトルの注ぎ口が通る穴をあけ、キャップを締めて固定しました。私たちはこれを土曜日・日曜日の福岡市都心部の通り広場に持ち出しました。ボトルの底面には市民がメッセージやカラフルな絵を描き、柱間にボトルを横積みして壁を作りました。ゴミであるペットボトルが美しい構造体に変化する様子を多くの市民とともに楽しむことができました。環境教育とものづくり教育を兼ねたこの取り組みは、「環境フェスティバルふくおか2007」におけるデモンストレーションとして実践しました。この取り組みの様子は、URL <http://www.isami.info/t-box.html> から動画でご覧になることができます。

